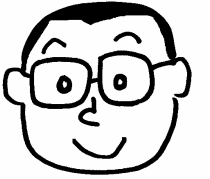


みなさんのお声を市政に反映させるため、  
平成19年もすべての定例会で一般質問を行いました。  
今年も『住みよい富岡市』をつくるため、全力で頑張ります。



3月議会では『職員の民間派遣研修について』を議会で取り上げました。

10名の市職員を2年間、民間企業に派遣することについて、その目的、市が負担する費用、派遣先を質問しました。『人間形成が目的』、『市の負担は4600万円』、『派遣先はかんら信金(現しのめ信金)、シルクカントリー倶楽部、ココン、こまち、西毛病院などの7事業所』等の当局の回答に対し、『財政状況が厳しい中、人間形成というあいまいな目的のために10人もの職員を派遣すること』についての疑問を訴え、『派遣人数と派遣先の見直し』を提案しました。

6月議会では『コンビニ納税』と『緊急情報メール配信システム』について質問しました。

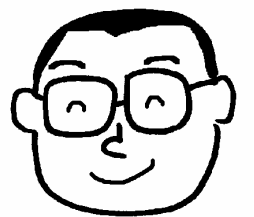
コンビニエンスストアで市税を納めることができる方式の導入について

365日24時間、都合のよい時にコンビニエンスストアで納税できる方式を、『市民の利便性向上という観点から、富岡市でも導入すべき』と議会で提案しました。現在当局で検討していますが、平成20年度中に開始される方向で進んでいます。

昨年、議会で提案しましたこの2件は、両方とも今年中には開始される見込みです。『私たちの暮らしを良くするための提案』を今年も積極的に行います。

緊急情報のメール配信の早急な実施について

私は4年前から、防災行政用無線で放送している火災情報などをメールで携帯電話に文字情報として送る方法について提案してきました。この方法にすれば、防災行政用無線が聞こえない方々に正確かつ迅速に緊急情報を伝えることができます。これまで消防や行政の関係者だけを対象としたテストが行われてきましたが、今年度中もしくは来年度早々には、希望する市民の方全員にメール配信ができる体制が整備される見込みです。



9月議会では『国保加入世帯の負担を軽減するための対策について』取り上げました。

富岡市の国保財政は厳しいことから、昨年度、国保税は大幅に値上げされましたが、これに対し、たくさんの方々からご意見を頂きました。国保の加入者は高齢者や無職の方の割合が高く、企業や公務員の保険組合加入者と比べると、経済的に余裕がない方が多いことから、『加入世帯の負担を減らすための対策が必要』と考え、議会で質問を行いました。

当局からの回答の中で、『県内12市の中で富岡市の国保加入者一人当たりの医療費は最も低く、国保税の納付率は最も高い』との説明があり、『富岡市の国保加入者は県内12市の中で一番医療費がかからず、しかも一番まじめに国保税を納めている』ことが確認できました。それに対し『藤岡市や安中市のように、一般会計から国保会計へ税金を回すことで、富岡市の国保税を12市の中で一番安くすべきである』と議会で訴えました。

今後も、他の自治体はどのような工夫をしているかを調査研究し、議会で積極的に発言して参ります。

**NEW**

12月議会では『プラスチックごみ収集日の増加』と『消費生活センターの改善』について質問しました。

不燃性資源ごみ収集日の増加について

プラスチック容器やペットボトル等の不燃性資源ごみは、現在月に2回、収集が行われています。しかし、ライフスタイルの変化により、不燃性資源ごみは年々増加し、今では多くのごみ集積所で、収集日にはごみがあふれんばかりの状況になっています。こうした状況を改善するため、収集日の増加を一般質問の中で提案しました。その結果、今年4月から特に増加しているプラスチック容器包装のみの収集日を設定し、月4回収集が行われることになりました。

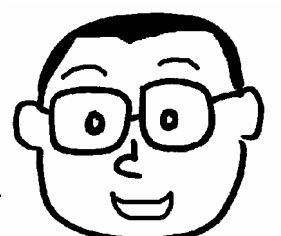
以前から多くの方々から『プラスチックごみの収集日を増やしてほしい』というご意見を頂いておりましたが、一般質問で取り上げたことで、一気に進めることができました。

また、消費生活センターは、あい愛プラザ1階に設置されておりますが、『市民の方が自由に使えるコーナーのすぐ横に相談用のカウンター席を設けている』等、利用しづらい状況にあります。消費生活センターの重要性は今後もいっそう高まることから、改善を要望しました。

消費生活センターの改善について

振り込め詐欺や還付金詐欺、さらには悪徳商法や多重債務問題など、私たちの暮らしを脅かす問題は年々増加する傾向にあります。こうしたことから、市民の様々な問題についての相談業務を行う消費生活センターの重要性は高まっております。

しかしながら、富岡市の消費生活センターは、人員や利用環境の面で改善すべき点が多いことから、県内の他市の現状と比較しながら、当局の今後の対応について質問しました。



私たちの暮らしをより良いものにするための、ご意見やアイデアがございましたら、どうぞ『もはら』にお聞かせください。